

財政公表

皆さんからの税金や国・県からの支出金などは、どのくらい入りのように使われたのでしょうか。奥ノ木市長就任直後の平成26年度から令和2年度までを比較しながら、令和元年度の決算状況をお知らせします。これまでも適正な予算執行に努めてきましたが、今後もさらなる健全な財政運営を目指して参ります。

令和元年度決算のポイント

過去最大の歳出決算額(一般会計)


	平成26年度 当初予算	平成27年度 当初予算	平成28年度 当初予算	平成29年度 当初予算	平成30年度 当初予算	令和元年度 当初予算	令和2年度 当初予算
一般会計 当初予算	1,732億円	1,762億円	1,862億円	1,916億円	1,892億円	2,078億円	2,079億円
平成26年度との比較		30億円増	130億円増	184億円増	160億円増	346億円増	347億円増
一般会計決算	平成26年度決算 1,764億円	平成27年度決算 1,813億円	平成28年度決算 1,879億円	平成29年度決算 1,979億円	平成30年度決算 1,854億円	令和元年度決算 2,020億円	令和2年度 当初予算 2,079億円
							6年間で 1,197億円増

収収確保の成果

収納率を平成25年度末の90.6%から毎年着実に伸ばし、昨年に引き続き過去最高の収収を確保

	平成26年度 当初予算	平成27年度 当初予算	平成28年度 当初予算	平成29年度 当初予算	平成30年度 当初予算	令和元年度 当初予算	令和2年度 当初予算
市税	879億円	903億円	914億円	917億円	943億円	953億円	963億円
収納率(予算時)	89.4%	91.2%	92.3%	93.8%	95.3%	96.5%	97.1%
平成26年度との比較		24億円増	35億円増	38億円増	64億円増	74億円増	84億円増
市税	平成26年度決算 913億円	平成27年度決算 918億円	平成28年度決算 939億円	平成29年度決算 952億円	平成30年度決算 963億円	令和元年度決算 974億円	令和2年度 当初予算 963億円
収納率(決算時)	91.5%	92.5%	94.2%	95.6%	96.6%	97.2%	
							6年間で 319億円増

土地開発公社借入を含めた市全体の借入金残高を削減

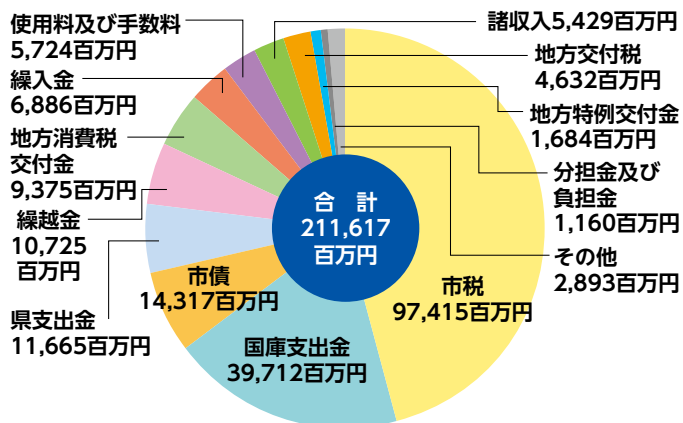
(一般・特別・企業会計と土地開発公社借入の合計)
※  は一般会計決算に対する地方債残高の割合

	平成26年度決算 (83.1%)	平成27年度決算 (78.6%)	平成28年度決算 (76.1%)	平成29年度決算 (75.0%)	平成30年度決算 (79.1%)	令和元年度決算 (73.3%)	
市債残高							平成26年度 以降最低
一般会計	1,466億円	1,425億円	1,431億円	1,485億円	1,466億円	1,481億円	
特別会計	776億円	767億円	760億円	757億円	756億円	209億円	
企業会計	317億円	311億円	314億円	315億円	310億円	852億円	
土地開発公社借入金 ※土地開発基金含む	175億円	166億円	152億円	128億円	89億円	68億円	7年で 392億円の 大幅な圧縮 ※平成24年度末 は約460億円
合計	2,734億円	2,669億円	2,657億円	2,685億円	2,621億円	2,610億円	

一般会計決算額の内訳

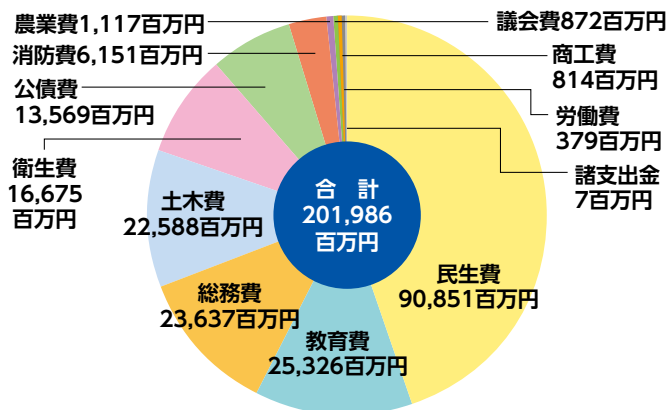
歳入 2,116億1,700万円

さらなる収収確保に努め、市制施行以来、最大の収納額となった市税は、前年の約963億円と比べ約11億円の増、幼児教育・保育無償化などの影響により国庫支出金は、前年の約356億円と比べ約41億円の増となりました。



歳出 2,019億8,600万円

新庁舎建設事業、赤山歴史自然公園(イイナパーク川口)整備事業、川口市立高等学校建設事業の3大プロジェクトにおいて、新庁舎1期棟(第一本庁舎)が完成し約81億円の増、3大プロジェクトを除くと、幼児教育・保育無償化のため民生費は約38億円の増、財政調整基金への積立などのため総務費は約25億円の増となりました。



令和元年度 主な事業の決算額

3大プロジェクトの推進

- 新庁舎建設事業(令和2年3月竣工)
→84億4,200万円
- 川口市立高等学校建設事業
(令和3年度全ての工事が完了予定) →15億8,700万円
- イナパーク川口(赤山歴史自然公園)整備事業
→3億2,900万円



「産業の元気」に関わる施策

- 市産品フェア2019の開催
→7,100万円



「まちの元気」に関わる施策

- 区画整理事業等の促進 →65億5,400万円
- 中学校夜間学級関連事業(平成31年4月開校)
→3,000万円

「くらしの元気」に関わる施策

- 幼稚園・小学校防犯カメラ設置事業 →1,400万円
- 不妊治療支援事業 →1億5,300万円
- 防災・防犯対策
 - ・学校(避難所)への災害用集合トイレ整備 →700万円
 - ・公民館(内水氾濫時一とき避難所)へ小型発電機と照明装置を整備 →600万円
 - ・町会・自治会が行う防犯カメラ設置に対する補助 →600万円

「人々の元気」に関わる施策

- 多文化共生推進事業 →2,100万円
- 子ども発達相談センターの開設準備
(令和2年4月開所) →1,700万円
- 保育所等の整備
186施設・11,209人(前年度比11施設・756人増)
→17億5,000万円
- 保育士確保を目的とした保育士賃金補助
117施設・1,121人(前年度比17施設・217人増)
→1億7,800万円
- 中高一貫校設置促進事業
(令和3年4月開校予定) →600万円

「地域の元気」に関わる施策

- NHK跡地整備事業 →3,300万円
- 市街地再開発事業等への支援 →31億7,000万円
- 東川口駅周辺の浸水対策 →1億2,400万円

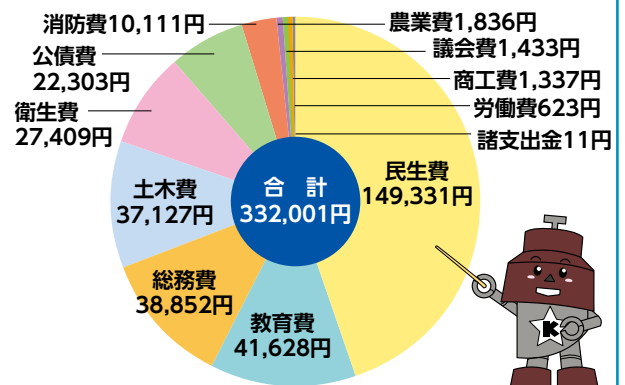
社会資本・公共施設の整備

○主な大規模修繕、改修、改築事業

- 総合文化センター・リリア維持補修事業
→1億5,400万円
- 市営前川住宅建替事業 →2億7,100万円
- 前川図書館改築事業 →7,200万円
- 領家公民館改築事業 →3億1,600万円
- 領家保育所改築事業 →1億8,600万円
- 新郷学校給食センター耐震補強事業 →1億5,300万円
- 芝スポーツセンター耐震改修事業 →7億5,000万円

一般会計の決算額を市民1人あたりでみると…

- 民生費** 高齢者・障害者・児童・生活困窮者に対する福祉など、市民の安定した社会生活を保障するための経費
- 教育費** 幼稚園・小学校・中学校・高等学校、図書館・公民館・科学館・スポーツセンターなどに要する経費
- 総務費** 一般的な管理事務、企画調整、財政・財務管理、財産管理、戸籍、統計、課税・徴収および選挙に要する経費
- 土木費** 道路・河川・公園などの維持・整備および都市計画・再開発などのまちづくりに要する経費
- 衛生費** 生活習慣病予防対策や予防接種などの保健事業、環境対策およびごみ収集・焼却など市民の衛生的な生活環境を保持するための経費
- 公債費** 市債(市の借金)の償還費



令和元年度特別・企業会計決算額

会計種別	歳入	歳出	一般会計からの繰入額
特別会計(12会計)	1,315億5,400万円	1,297億1,800万円	147億4,200万円
企業会計(3会計)	501億8,900万円	563億3,400万円	55億6,300万円

※企業会計歳入不足分は、内部留保資金(減価償却費など)等で補填